

ONE STEP

一人ひとり、一歩ずつ。





From Board Chairman



重層屋根瓦指導で飛躍へのPlatform

この病院を16年間中から見てきました。客観的に見るのが難しくなりつつありますが、自身の教育体験、米国二大学 (Yale, USC) 6年、日本二大学 (千葉大16年、東大17年) 33年から鑑みても、『全方位/中核病院でのスタートは、将来のインシエとなる』ことを保証します。

全医師数240は卒後研修として指導を行う、One “Unified” Teamには最適な数字と考えます。さらに、臨床研究、国際誌投稿、国内外留学など、将来のキャリア形成に対応できるよう柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修2～5年ををサポートいたします。

山梨県立病院機構理事長 東京大学名誉教授
小俣 政男

From Chief of Medical Clinic



山梨県立中央病院 院長
小嶋 裕一郎

当院は、高度救命救急センター・総合周産期センターを有し、また、全国で32施設のみが選ばれた“がんゲノム医療拠点病院”の一つです。ドクターヘリを運用する県内唯一の三次救急病院でもあり、Common diseaseから重症例まで、日常診療から専門的医療に至るまで、幅広い研修が可能です。

現在242名の医師が在籍し、うち専攻医54名、研修医53名と若手医師も多く、互いに刺激を受けながら、切磋琢磨できる環境が整っています。MSGR (Medical Surgical Ground Rounds) や症例報告、臨床研究発表会など、学びの機会も多く設けています。また、希望する専攻医は週に1回、ゲノム解析センターで遺伝子解析の研究に参加することも可能です。また、研修医の寮である防音性に優れた“レジデントクォーター”や海外留学制度など、生活・キャリアの両面から手厚くサポートする体制も整っています。

皆さんの当院での研修を、心よりお待ちしております。



山梨県立北病院 院長
宮田 量治

専攻医プログラムの3年間は精神科医としての一生を決定づけると言ってもよい重要な期間です。北病院では、乳幼児・10歳未満の児童を除くすべての年代／精神疾患に対応し、初診の3割は20歳未満の思春期例です。救急急性期症例、指定症例・専門症例を無理なく経験でき、アルコール依存症や司法精神医学なども身近なものとして体験できます。精神科医として第一歩を踏み出そうとしている皆さんにはうってつけの病院と自負しています。

よい医師は、患者さんが育てるものです。たくさんの経験を通し、試行錯誤する過程も体験しながら、力をつけていきます。そのためには、最先端の情報を集めたりまとめたりすることも必要となります。研修中は大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの一生の宝となるようにスタッフ一同頑張りますので、ぜひ一緒に新しい精神科臨床を切り開きましょう。

ONE Package

“世界に羽ばたく人材”を 独自のプログラムで育成します。

臨床研究、国際誌投稿、国内外留学等、個人の願望、将来のキャリア形成に応じる柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修5年間でサポートいたします。

初期、後期の一貫研修を通してこの期間に当院でどれだけの臨床能力でアドバンテージがとれるか。Common Diseaseから希少な症例まで経験でき、今後の医師生活において重要な基盤を築けることができるプログラムで、卒後5、6年の間に臨床医として同世代の医師達を大きく凌駕する力をそれぞれの分野で身につけ、活躍しましょう。

features

プログラムの特徴

- 主役は研修医・専攻医
- 指導医との顔の見える関係
- 重層屋根瓦方式の指導
- 充実した高度医療の実践
- Common Disease
- 恵まれた研修環境
- 初期～三次救急医療の充実

約240名の医師のうち、100名が若手医師“One Team”でサポートします。

高度救命救急センター

重篤な救急患者を24時間体制で受入

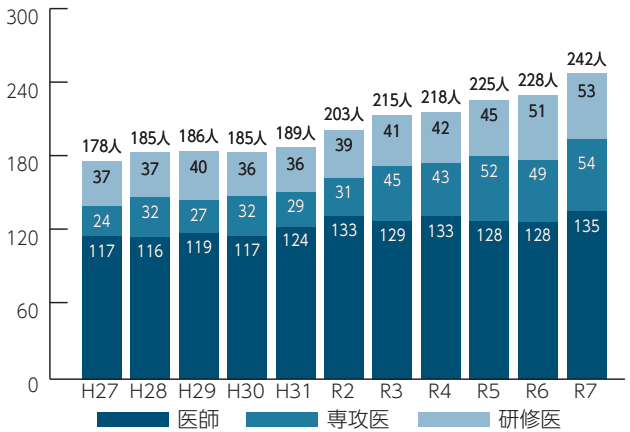
総合周産期母子医療センター

幅広い周産期医療を提供

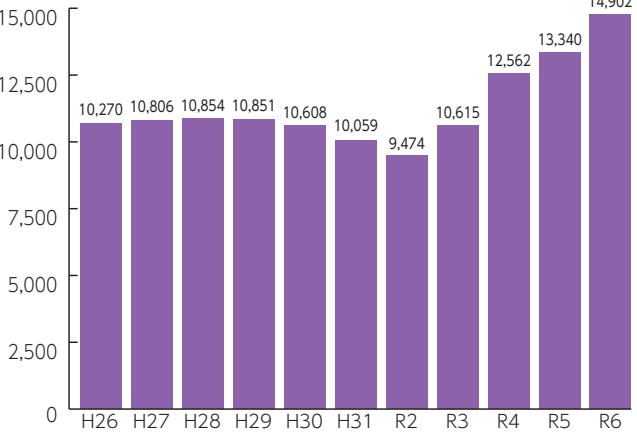
がんゲノム医療拠点病院

がん診療と遺伝診療体制を整備

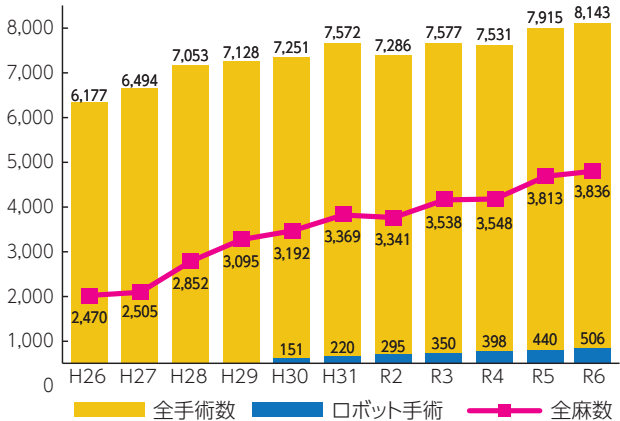
医師数



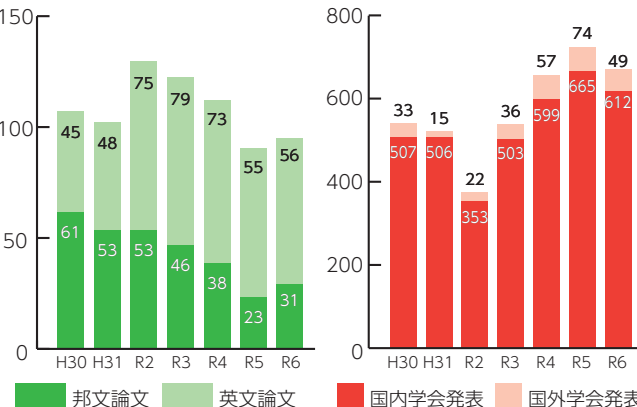
年間救急患者数



年間手術件数



学会発表数





当院は、救急医療および各分野での最先端医療を提供する地域中核病院であるとともに、それを支える教育、学術研究に力を入れた人材教育を行っています。医師にとって大切な初期研修期間を豊富な症例を経験できる当院で過ごし、専門医研修につながる礎を築きましょう。

初期臨床研修プログラム統括責任者
飯室 勇二

市中病院全国トップクラスの研修医数

恵まれた研修環境

1. 総合研修プログラム

- 選択診療科について
- 2年間の研修期間のうち48週間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能です。
- 必修科目について
- 内科研修では「循環器・糖尿病内分泌」「呼吸器」「消化器」「腎臓・リウマチ膠原病」「総合診療・感染症」の中から3つを選択していただきます。
- 救急科研修では高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
- 精神科は専門病院である山梨県立北病院で研修を行います。
- 地域医療研修では10の地域医療拠点病院から研修場所を選択可能です。
- 2年次に行う一般外来研修では、院内・外の指導医のもと継続的な診察が経験できます。

総合研修プログラム	1週～4週	5週～8週	9週～12週	13週～16週	17週～20週	21週～24週	25週～28週	29週～32週	33週～36週	37週～40週	41週～44週	45週～48週	49週～52週
1年次	選択科	内科1	内科2	内科3	救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科				
2年次	精神科	選択科	地域医療	選択科									

2. 産婦人科・小児科重点プログラム

- 上記総合研修プログラムをベースとし、更に充実した小児科・小児外科・新生児内科研修及び、産科・婦人科研修のさらなるニーズに合った研修スケジュールが選択できます。
- 当プログラムのみ山梨大学小児科での研修が可能です。

産婦人科・小児科重点プログラム	1週～4週	5週～8週	9週～12週	13週～16週	17週～20週	21週～24週	25週～28週	29週～32週	33週～36週	37週～40週	41週～44週	45週～48週	49週～52週
1年次	選択科	内科1	内科2	内科3	救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科				
2年次	精神科	選択科	地域医療	小児科領域および産婦人科領域				選択科					

3. 連携体制

- 協力型病院
山梨県立北病院、山梨大学医学部附属病院、山梨赤十字病院、富士吉田市立病院、都留市立病院、大月市立中央病院、上野原市立病院、飯富病院、市川三郷病院
- 協力施設
山梨市立牧丘病院、北杜市立塩川病院、北杜市立甲陽病院、富士川病院、甲府市保健所、石和共立病院、山梨県厚生連健康管理センター、道志村診療所

研修医からのメッセージ

医師としての基礎を身につけるために

FIRST STEP VOICE

Message

山梨県立中央病院

初期研修医

研修医基本理念

すべての研修医が確かな知識と医療技術を礎に成長を続け、患者に信頼され安心を与え、自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

基本方針

- 1 基本的な手技・知識・問題解決能力を身につける
- 2 Professionalな医師を目指す
- 3 コミュニケーション能力を身につける
- 4 山梨の医療を考える
- 5 学術的探求と臨床研究能力を習得する



Message

網野 稜一郎

山梨大学 卒業

1年次

「どれだけ良い研修を受けたかは、如何に沢山の失敗をしたかで決まる。」研修が始まってすぐ上級医の先生がおっしゃった言葉です。4月から初期研修が始まり右も左も分からない状況で、当初は心配な気持ちで一杯でした。しかし、当院は先輩方だけでなく、上級医の先生方を始め、医療スタッフの方々が常に寄り添い、丁寧かつ熱心に指導して下さいます。そのため研修医が安心して診療に取り組み、知識や技術を着実に身につけられる環境が整っています。そのお陰もあり、基本的手技から初療の対応や手術の執刀まで日々奮闘しながらもできることが1つひとつ着実に増え成長を感じる、充実した毎日を送っています。

また、同期や先輩方に恵まれている点も大きな魅力です。研修医同士が助け合い、支え合うことでお互いに成長しながらも楽しく研修できていると実感しています。

ぜひ一度、見学にいらして当院の雰囲気を肌で感じてみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Message

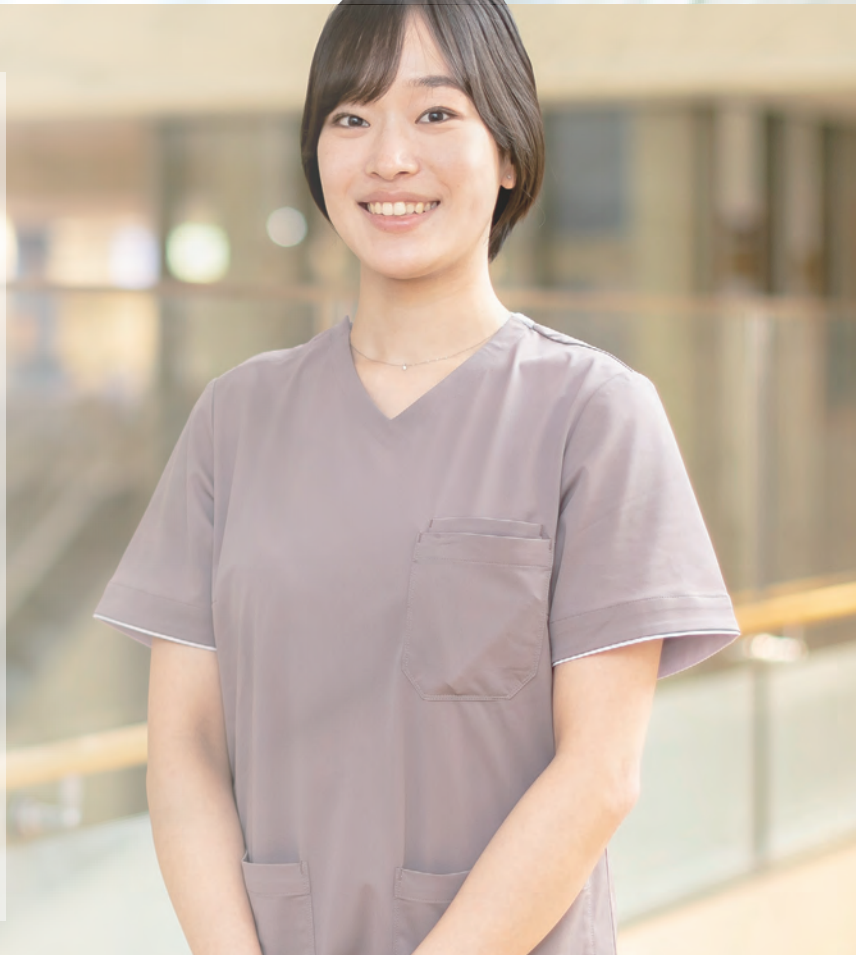
浦野 恵理子

東京慈恵会医科大学 卒業

2年次

みなさん、はじめまして。5・6年生の皆さんにとっては、マッチングを意識して病院見学を始める時期かと思います。私が初めて病院見学を訪れたのは、5年生の4月。最初に見学したのは山梨県立中央病院でした。地域医療に関心を持って調べていた際にスプリングキャンプの募集を見かけたことがきっかけでした。残念ながらその時は応募に間に合いませんでしたが、2回の見学を通して当院の魅力を実感しました。三次救急を担う救命センターや、高度医療を支える施設、選択科の多いスーパーローテーション方式など、学べる環境が整っています。

現在2年目を迎え、心優しい同期にも恵まれ、医師としても人としても成長できたと感じています。多くの選択肢の中で、縁もゆかりもない山梨県を選びましたが、当院を選んで本当によかったと思っています。ぜひ一度、山梨へ足を運んで見学にいらしてください。お待ちしております。



Message

天瀬 みなみ

岩手医科大学 卒業

1年次

私が当院を研修先に選んだのは、志望科を含む多くの診療科が揃い、幅広い症例を通じて実践的な経験が積める点や、重層屋根瓦式の研修体制に魅力を感じたからです。

研修が始まってからは、毎日が新しい学びの連続で、臨床の面白さや難しさを実感しています。知識や姿勢の両面で尊敬できる先生方のもとで、困った時にはすぐに相談しながら、安心して経験を積むことができます。全国から集まった同期は明るく勉強熱心な人ばかりで、日々刺激をもらいながら楽しく研修を送っています。

そうした自分の意見や疑問を言葉にできる風通しのよさや、医療に誠実に向き合う姿勢を育む土壤が、この病院にはあると感じています。

初めての土地で不安もありましたが、医師としても一人の人間としても少しずつ前進できるこの研修生活は、自分にとってかけがえのない時間です。もし研修先を検討している方がいらっしゃれば、ぜひ一度この空気を体感しに来てください。



Message

赤岡 大地

東京医科大学 卒業

2年次

私がこの病院を選んだ理由は、研修医でも幅広い医療経験を積める環境が整っているからです。上級医による的確なサポートもあり、手探りの中にも確かな道筋がある環境です。

特に二次救急では、多様な主訴を持つ患者さんが来院され、短時間で適切な対応をする力が求められます。一瞬の判断が患者さんの命に直結する緊張感の中で、医師としての責任と判断力が鍛えられます。

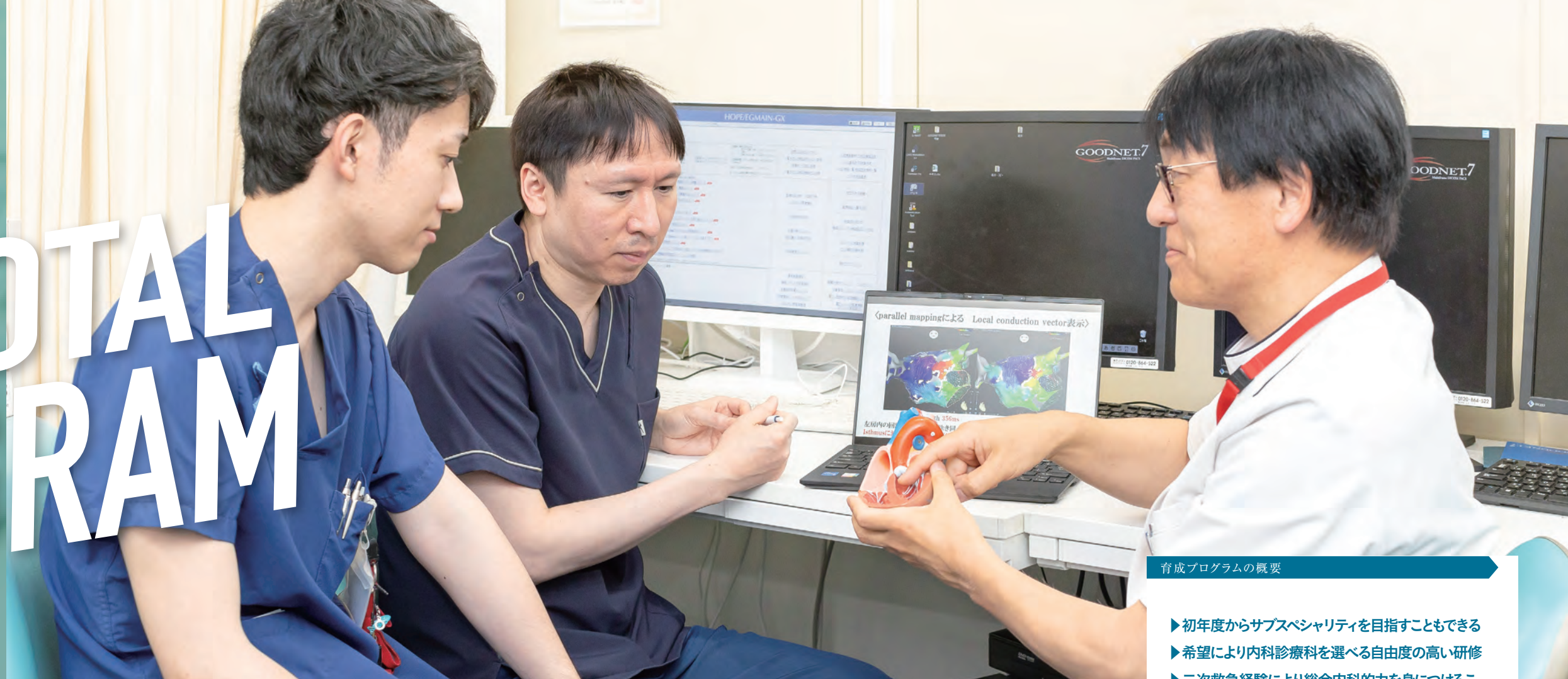
また、外来研修では生活習慣病や高齢者医療など、より長い時間をかけて患者さんに寄り添う医療も経験できます。病気だけでなく、生活や社会背景にも目を向けることの大切さを実感する日々です。

このような幅広い経験を通して、患者さんに信頼される医師を目指して努力を続けています。あなたもぜひ、ここで一緒に学び、悩み、成長していきませんか？白衣のポケットには、知識だけでなく、成長のチャンスやちょっとした驚きもたくさん詰まっています！



09 TOTAL PROGRAM

合計9つの研修プログラム
プロフェッショナルな医師を目指す



育成プログラムの概要

- ▶初年度からサブスペシャリティを目指すこともできる
- ▶希望により内科診療科を選べる自由度の高い研修
- ▶二次救急経験により総合内科的力を身につけることができる
- ▶市中病院ならではの多数の症例と手技を経験できる

地域医療の最後の砦として、地域密着の医療を提供しています。山梨県の様々なセンター機能を担う、密度の高い専門医療も行っています。ゲノム解析センターを持ち、最先端のがん診療を提供すると同時に、二次・三次救急も経験できる特徴ある総合病院です。日常臨床と同時に学会活動も重視した、やりがいに満ちた環境です。各領域の専門医に対してリアルタイムに相談が可能で、躍動感ある医療現場への参加が実感できます。



PROGRAM NO.

01

山梨県立中央病院

内科専門研修プログラム

Message

優れた指導医と豊富な症例のもとで深める臨床研究
磨かれるリサーチマインド

2024年度は6名の募集に6名の、2025年度は7名の募集に6名の専攻医が内科プログラムに参加しています。当院は二次・三次救急施設であり、幅広い救急疾患に対応できる手技、判断力が身につきます。院内診療科の連携がよく、初期より専門領域の研修を積みながら、他領域の疾患も経験できます。山梨大学、東京科学大学、千葉大学、杏林大学、他多数の基幹施設とも連携しており、現在15名の内科専攻医が活躍しています。仲間と切磋琢磨しながら多くの症例を経験し、医療人としての礎を築き、世界に羽ばたいていく。そんな熱い気持ちを持った人を待っています。



内科専門研修プログラム統括責任者
梅谷 健



Message

山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担う
多くの症例数を経験に、学術的な研修も十分

当院は山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担っています。多くの山梨県民に「ロボット支援下手術やがんゲノム医療」などの先端医療を提供するとともに、高いレベルの医療を支えることができる外科医を育成することを使命としています。外科医としての第一歩を踏み出す若者が、元気に将来の希望をもって働き、有意義な臨床経験を積むことができる研修プログラムを提供できるよう指導医が一丸となって取り組んでいます。



外科専門研修プログラム統括責任者
羽田 真朗

育成プログラムの概要

▶“魅力ある外科”へ当院で一步を踏み出そう

外科医を必要とする患者さんは非常に多く、また習得すべき手術方法も進化し続けています。外科は、天職として選択するには、大変魅力ある診療科です。我々と一緒に魅力ある外科の道に踏み出しましょう。

消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、および乳腺外科のいずれかをサブスペシャリティとし、それに連動した研修スケジュールを設定することができます。一方、サブスペシャリティを特定しない外科全般の研修も可能です。

急性期外科治療 ACS (Acute Care Surgery) に興味のある医師も多く研修しており、すべての領域において十分な症例数を臓器専門医の指導のもとに経験することができ、学術的な研修も十分にできる体制をめざしています。

当院の年間外科手術数は約2,200例、3年間で12名の専攻医を受け入れることができます。2026年度は4名を定員として募集いたします。山梨県内外の13病院が連携施設となっており、6か月を連携病院で、2年6か月は当院で研修する予定です。専攻医のサブスペシャリティ研修の希望に合わせ、研修スケジュールを組むことができます。

※ 当院では、「da Vinci Xi」などのロボット支援下手術や、ゲノム医療などの高度医療に興味のある若手医師を積極的に募集しています。



育成プログラムの概要

▶連携病院との豊富な人事交流で
お互い刺激しながら救急医療の研鑽を
積むことができます！

当院は県内唯一の救命救急センターとして山梨県全域より年間2,000例以上の重症患者を受け入れ、コロナ禍後も増加しています。ドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療は、24時間365日県内全域をカバーし、重傷外傷、敗血症を伴うような急性腹症の緊急手術や脳血管から全身のIVR、集中治療管理までを一貫して実施しています。

サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得した指導医のもとで、術者・担当医として退院まで自己完結的な診療を経験できます。特殊な病態に対しては他科との連携も良好で専門性の高い疾患にも対応しています。また県内外の多数の施設と連携し、ER、集中治療、地域医療を実践し救急医として幅広い臨床経験を積むことができます。救急科専門医取得後はダブルボードを目指すことも支援しています。



Message

サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得し
術者・担当医として退院まで自己完結を目指す

豊富な症例に対して手術、IVR、ECPRなどを多くの指導医のもとに経験することができます。担当医制ではありますが、休日は完全なOFFが取れ、プライベートの時間も確保できます。女性医師も複数名在籍しており、体力面の不安や出産・育児への負担にも配慮します。今年度から稼働を開始したハイブリッドERで、「こんな重症患者も救うことができるのだ」という体験をしてみませんか。



救急科
専門研修プログラム統括責任者
岩瀬 史明

▶信頼され進歩する小児科医としての基礎を作る

最初の半年間は当院で基本的な小児診療を研修し、続く半年間は山梨大学小児科で慢性疾患や希少疾患の診療を中心に研修します。2年目以降は、連携病院では小児の地域医療の研修を、当院では希望を考慮しながら小児科・新生児内科での柔軟な研修を1年間ずつ行います。各施設の特徴を活かした小児医療全般の研修を通して、子どもの身体だけでなく心や家族などの社会的背景まで含めて全人的に診療する小児科医としての基本技能を3年間で習得します。サブスペシャリティを持つ指導医や先輩が多く在籍する環境であり、自分の未来像を描くことができます。



PROGRAM NO.

04

山梨県立中央病院

小児科専門研修プログラム

Message

多様な小児疾患診療と総合周産期センターでの新生児医療を担う 地域小児医療の経験やサブスペシャリティの基礎研修も可能

当院は山梨県の中核病院であり、小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで多様な症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターの一翼を担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学小児科や地域医療施設での研修を取り入れた3年間のプログラムにより、小児科専門医として必要な考え方や技術の獲得が可能です。多様な技能や経験を持った先輩が待っています。是非、私たちのチームに入ってください。

年	1年次				2年次				3年次			
月	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
専攻医A	小児科		山梨大学		地域連携施設				小児科／新生児内科			
専攻医B	小児科		山梨大学		小児科／新生児内科				地域連携施設			

山梨県立中央病院小児科専門研修プログラム 研修モデル



小児科専門研修プログラム統括責任者
内藤 敦

Message

専攻医の希望を積極的に取り入れる2024年度からの新プログラム 各領域のサブスペシャリティ取得が可能

当院は、日本産科婦人科学会をはじめ、周産期・超音波・内視鏡・腫瘍領域でも認定を受けた、幅広い研修が可能な施設です。加えて、国内最多クラスのHugo/da Vinciロボット手術を経験し、研究にも踏み込めます。募集は3名。少人数だからこそ、皆さんのキャリア目標に合わせた「診療・研究・学会発表」を柔軟に設計します。プログラムは2年目、まだ伸びしろだらけです。「共創パートナー」として遠慮なくアイデアを提案してください。

産婦人科は、命の誕生と命の尊厳、両方に向き合う科です。挑戦には勇気が要りますが、私たち指導医が全力で支えます。ここであなたの可能性を大きく広げてください。

一緒に未来をつくっていきましょう。

年	1年次	2年次	3年次
主体施設	当院	大学病院＋地域	個別相談
研究テーマ	周産期診療・腹腔鏡／ロボ基礎	生殖医療、女性医療、地域医療	研究・留学・専門修練の深化
備考	当直・救急含む症例主治医	県外連携施設も可	海外短期留学サポート可



産婦人科専門研修プログラム責任者
坂本 育子

- ▶高度な臨床研修環境
- ▶充実したサブスペシャリティ研修
- ▶最先端研究へのアクセス
- ▶柔軟なローテーションとキャリア形成

・高度な臨床研修環境：山梨県唯一の総合周産期母子医療センターとして年間約90件の母体搬送、600件超の分娩管理（ハイリスク中心）を担当。年間500例以上の婦人科手術、県内最多の婦人科悪性腫瘍手術に加え、国内有数の症例数を誇るロボット支援手術（da Vinci, Hugo）を経験できます。

・充実したサブスペシャリティ研修：日本産科婦人科学会基幹研修施設に加え、周産期・新生児・超音波・内視鏡・婦人科腫瘍の各学会認定研修施設であり、専門医取得を全面的にバックアップします。

・最先端研究へのアクセス：プログラム責任者の専門でもある「ロボット手術×腫瘍ゲノム」研究をはじめ、臨床に根差した研究活動（学会発表、論文執筆等）を積極的に支援します。

・柔軟なローテーションとキャリア形成：基本ローテーション（1年目当院、2年目大学／地域、3年目応相談）を軸に、県外連携施設での研修も可能です。2024年度開始の新しいプログラムとして、専攻医一人ひとりの希望やキャリアプランを重視し、共にプログラムを進化させていきます。



PROGRAM NO.

05

山梨県立中央病院

産婦人科専門研修プログラム



総合診療専門医研修プログラム

Message

幅広い領域を診る専門家として問診・診療を徹底し
オールラウンダーとして医療に貢献

「よくある病気、困っていることなら何でも診ることができる」というのは、逆説的ですが、専門家でないとできません。総合診療プログラムでは、比較的大きな病院で活躍できる総合内科医を育てます。慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わずオールラウンダーとして活躍できる総合診療内科医と一緒に目指しませんか？



総合診療専門医研修
プログラム統括責任者
三河 貴裕

育成プログラムの概要

▶慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、ひとつの臓器にとどまらず、全人的医療を目指すオールラウンダーとして活躍を

まず山梨県立中央病院総合診療科・感染症科で病棟診療、外来診療をみっちり研修します。後期研修1年目ではどんな患者さんでも問診と診察を徹底し、診断を付ける方略を身につけます。2年目では身につけたスキルを地域医療機関で実践し自分の得手不得手を確認します。3年目は仕上げです。中堅医師として若手医師の教育、マネジメントやリーダーシップを学び実践します。プログラム終了後は、総合診療専門医受験資格を得て、病棟総合医となるか、サブスペシャリティとして内科プログラムに参加することも可能。また、当科は県内唯一の日本感染症学会認定施設ですので、感染症科医を目指すこともできます。



整形外科地域専門研修プログラム

Message

高度救命救急センターとの連携により豊富な外傷症例を経験
上級医の指導のもと多くの症例を執刀できる

当院の整形外科は医師11名（日本整形外科学会専門医6名）の体制で、整形外科のほぼ全分野に対応しています。2020年4月より脊椎専門医と運動器腫瘍専門医が加わりさらに充実した研修が可能となりました。専門医を目指す若手整形外科医も多く勤務しており、同年代で切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約1,000件、三次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。



整形外科地域専門研修
プログラム統括責任者
佐久間 陸友

育成プログラムの概要

▶外傷のスペシャリストを目指して

整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。当院では特に、三次救急を扱う高度救命救急センターと連携して、脊椎外傷や重度四肢外傷の症例を数多く経験することができます。その中で患者さんの回復（未来）を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。



▶麻酔科管理症例は4,000例以上、
幅広い症例の経験が可能

当院は山梨県唯一の三次救急病院であると同時に、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターも併設しております。多発外傷や緊急循環器疾患、体外循環患者、脳神経外科などの広い分野での緊急手術の麻酔管理が可能です。またNICUを完備した周産期センターを併設しているため、緊急帝王切開を含めたハイリスク妊娠患者の麻酔管理から、超低体重の新生児の麻酔までも経験することも可能です。がん診療拠点病院でもあるため、高齢者の管理や多彩ながん疾患症例も経験することができます。

山梨大学附属病院をはじめとした各中核病院とも連携しており、小児心臓外科やペインクリニック、緩和ケアの分野での症例の補完も容易です。JBPOP取得者や心臓血管麻酔専門医、小児専門病院で経験を積んだ小児麻酔認定医も複数所属しており、各分野で専門性の高い麻酔指導を受けることができます。



PROGRAM NO.

08

山梨県立中央病院

麻酔科専門研修プログラム

Message

幅広い症例の経験を重ねると共に、
チーム医療の素晴らしさも経験することができます

2025年度より基幹病院として麻酔科専門研修プログラムを開始します。当院は山梨県最後の砦として、急性期、高度医療を担っており、全職員が高いモチベーションでチーム医療を実践しています。各診療科間の垣根は低く、親密なコミュニケーションのもと多彩な症例の麻酔管理を上級医の指導を受けながら経験することができます。市中病院の強みを生かしたプログラムをぜひ体験してみてください。



麻酔科専門研修プログラム統括責任者
久米 正記

専攻医からのメッセージ

十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

SECOND STEP
VOICE

Message

山梨県立病院機構
専攻医

専門研修プログラムの概要

中央病院では内科、外科、救急科、総合診療科、整形外科、小児科の専門研修プログラム、北病院では精神科の専門研修プログラムの基幹病院としています。専門医を習得する3年間の目安ですが、各専攻医のニーズに応じたプログラムが作成可能です。

基本方針

- 1 多くの臨床経験を積み重ねる
- 2 専門医資格取得を指導する
- 3 臨床研究を英文誌に投稿することを目標とする
- 4 海外留学の物心両面の援助を行う



SECOND STEP VOICE

専攻医からのメッセージ

十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

Message

保坂 彩夏

産科
(産婦人科専門研修プログラム)

私は昨年から新設された当院の産婦人科プログラムを専攻し、今年で2年目となります。1年目は婦人科、産科で半年ずつ研修を行いました。当院の婦人科はロボット手術件数が多いだけでなく、悪性腫瘍の難しい症例も多く扱う施設です。一方で産科も県内唯一の総合周産期センターとして正常妊娠のみならずハイリスク症例や母体搬送を多く受け入れており、産科、婦人科ともに幅広い症例や手技を経験することができるのが特徴です。また、大学病院や地域病院とも連携しており、3年間を通して周産期・腫瘍・生殖医療・女性医学を満遍なく学ぶことができます。

日々上級医の先生方の高度な診療や手術を間近で見学ことができ、恵まれた環境で充実した研修を行うことができると感じています。産婦人科や当院での研修に興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。皆様と一緒に働くことができることを楽しみにしております。



Message

平井 良

循環器内科
(内科専門研修プログラム)

私は当院で初期研修修了後、当院の内科プログラムを選択し、現在は専攻医2年目で循環器内科に所属しております。当院の循環器内科では、急性期治療から亜急性期治療を中心に、虚血性心臓病、不整脈、心不全など多岐に渡る疾患を診察することができます。

当院は山梨県唯一の三次救急施設として、24時間体制で虚血性心疾患治療に対する緊急冠動脈治療に対応しています。手技も多く、心臓カテーテル検査、アブレーション、緊急カテーテル治療にも参加し、様々な経験をすることができるのが特徴です。また最近では、Impellaやパルスフィールドアブレーションなど、各分野で最新治療についても経験することができます。日々の勉強は大変ですが、多くの疾患や手技を経験することができ、充実した研修を送ることができます。

ぜひ一度当院に見学にいらしてください。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしております。



Message

千野 俊春

消化器外科
(外科専門研修プログラム)

私は初期研修修了後、外科専門研修プログラムを専攻し、現在は消化器外科専攻医として勤務しています。当院の消化器外科では、ロボット支援下手術から腹腔鏡下手術、Common diseaseに対する手術まで、幅広い手術手技を間近に経験できることが特徴の一つです。またヘルニア手術や胆嚢摘出手術は研修開始とともに執刀する機会が多くあり、外科医としての基本手技を学ぶにあたり、この上ない環境だと思います。

また令和5年よりがんゲノム医療拠点病院に指定され、がんゲノム情報に基づいた医療の提供を実践することも当院の魅力です。がん治療における手術以外の治療法やその方針を正確な情報とともに学ぶことができます。

消化器外科では上部消化管、下部消化管、肝胆膵と、自分の専攻に沿った研修をバランスよく研修できるとともに、消化器以外の科も選択で研修することが可能です。どっしりと構えた上級医、奔走する専攻医とともに、皆さんも当院で楽しい研修生活を送りましょう。



Message

古屋 莉花

救命救急科
(救急科専門研修プログラム)

どんな現場でも冷静に判断し、適切に対応できる医師を目指したいと思い、当プログラムを専攻しました。

当救命センターは山梨県内で唯一の高度救命救急センターであり、県内全域から重傷外傷が集まるため、症例数が非常に豊富です。ドクターカー・ドクターヘリによるプレホスピタルケア、病院前治療から蘇生・手術・集中治療管理まで一貫して行う自己完結型の体制の中で、専攻医のうちから多彩な経験を積み、日々研鑽を重ねています。

指導医には腹部外科、脳外科、整形外科、IVR、集中治療などのサブスペシャリティをもつ医師がそろっており、幅広い知識と技術を学べる環境が整っています。毎日が新たな学びと発見の連続で、成長を実感できる充実した研修生活を送っています。

ぜひ一度見学にいらしてください。一緒に働ける日を楽しみにしています！



Message

精神科医療の基幹的病院
地域医療の実績、リサーチマインド

北病院の研修では、bio-psycho-socialな視点から、多職種スタッフとともに、精神科医としての知識や経験、対応力を身につけていきます。治療に難渋する患者さんの回復への道を試行錯誤する過程も体験しながら、精神科の高度治療(mECT,クロザピン)や心理療法を使いこなせるようにします。指定医レポート症例を無理なく経験でき、症例発表や学会発表を通してリサーチマインドを高める指導体制も充実しています。予備知識ゼロからでもスタート可能です！



精神科専門研修プログラム
統括責任者
宮田 量治

SECOND STEP VOICE 専攻医からのメッセージ

十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

▶初年度はオーブンネーベン制によるきめ細かい指導からスタート。本格的臨床研究を含めたリサーチマインドの醸成

北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。当院を受診する患者さんは、急性期から慢性期、思春期から認知症例まで幅が広く、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。山梨県の精神科医療の基幹的病院でありながら、地域医療の実践の場ともなっているのが当院の特徴です。研修では、オーブンネーベン制によるきめ細かい指導が特徴です。



Message 反田 伶

精神科
(精神科専門研修プログラム)

私は山梨県立中央病院での初期研修を終え、現在は当院で精神科専攻医として勤務しています。研修医時代にも当院で精神科研修を行いました。

当院の良いところは症例の幅広さと雰囲気の良さです。精神科救急医療を行っており、県内の急性期症例が集まるため、症例数は非常に多く経験すべき精神疾患は当院でほぼ網羅できます。mECTやクロザピンなど、治療抵抗性症例に対する高度な治療経験を積める強みもあります。主治医制のため1年目から主体的・実践的に診療に関わりますが、行き詰まった際はその都度上級医に相談できます。上級医の先生方が経験豊富かつ本当に熱心な方ばかりで、毎日のように相談に乗っていただいております。

精神科を考えている方はぜひ見学にいらしてください！皆様と共に働ける日を楽しみにしております。



02 POINT RECOMMEND

POINT

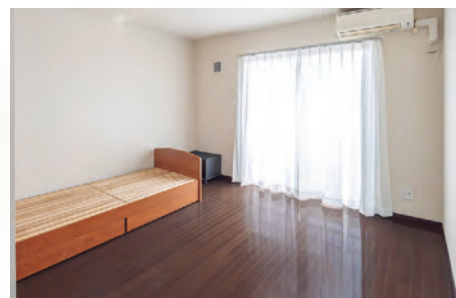
01

快適な仕事環境・ 福利厚生施設

県立中央病院から徒歩3分の寮や、
借り上げ社宅の貸出制度があります！
(研修医にかぎる)

■ 県立中央病院レジデントクォーター

- 住所 甲府市富士見1丁目4番11号
- 建設工事費 2億500万円(本体工事費 1億9,300万円 設計・管理費 1,200万円)
- 構造規模 鉄筋コンクリート造3階建て
- 内部仕上 32.58㎡/室×24室
- 設備 床/フローリング 壁・天井/石膏ボード+ビニルクロス システムキッチン(IH式)、水洗トイレ、ユニットバス、洗面化粧台
- 入居料等 26型液晶テレビ、ルームエアコン、木製ベッド
入居料 12,940円/月、共益費 1,500円/月、駐車場料 2,160円 計 16,600円



※寮への入居人数が満員の場合には、賃貸物件を借り上げて貸し出しも可能です。



■ 病院内施設の紹介

■ 医局



■ 図書室



PC スペース・ミーティング
スペース併設)

POINT

02

処遇について

■ 処遇

■ 身分 研修医
(会計年度任用職員)

■ 身分 専攻医
(会計年度任用職員)

■ 給与 1年次 351,400円/月

■ 給与 1年次 494,100円/月

2年次 360,300円/月

2年次 537,800円/月

3年次 591,500円/月

4年次 634,000円/月

※このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。※社会保険有り

Information

山梨県立病院機構について

2026 募集要項

初期研修医

■ 募集定員

総合研修プログラム 23名
産婦人・小児科重点プログラム 4名

■ 応募手続

詳しくはホームページをご確認ください。
(採用試験は2回に分けて行います)

■ 応募期間

令和7年6月13日(金)～令和7年8月20日(水)

■ 選考方法

- ・書類審査
- ・小論文
- ・面接

■ 採用の決定

選考結果をマッチング協議会に登録し、
その結果により採用を内定します。

■ 採用までのスケジュール

- 6月 5日(木) マッチング参加登録受付
- 7月 15日(火) 第1回選考試験応募締切
- 7月27日(日) 第1回選考試験**
- 7月 31日(木) マッチング参加登録締切
- 8月 20日(水) 第2回選考試験応募締切
- 8月31日(日) 第2回選考試験**
- 9月 11日(木) マッチング希望順位登録受付開始
- 9月 26日(金) マッチング中間公表
- 10月 9日(木) マッチング希望順位登録締切
- 10月 23日(木) マッチング組み合わせ結果発表

専攻医

■ 募集プログラム

内科専門研修プログラム
外科専門研修プログラム
救急科専門研修プログラム
総合診療専門研修プログラム
小児科専門研修プログラム
産婦人科専門研修プログラム
整形外科専門研修プログラム
麻酔科専門研修プログラム
精神科専門研修プログラム

■ 応募手続

(一社)日本専門医機構により
定められた方法に従います。
出願書類は次の通りです。
書類は郵送または持参してください。

■ 出願書類

- ・願書(当院様式)
 - ・履歴書1(当院様式)
 - ・履歴書2(当院様式)
 - ・健康確認書(当院様式)
 - ・医師免許証の写し
 - ・臨床研修修了証または
修了見込証明書
- ※当院ホームページからダウンロード可能。

■ 応募期間

日本専門医機構の
定めた期間による

■ 選考方法

・書類審査・小論文・面接

■ 採用の決定

専攻医登録システムにて
採否の登録をいたします。

■ 中央病院DATA (2025年4月1日現在)

[看護体制] 7対1看護

[入院患者数] 507人(令和6年度一日平均)

[外来患者数] 1,344人(令和6年度一日平均)

[指定病院] 高度救命救急センター、救急告示病院、基幹災害拠点病院、
第1種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、
臨床研修指定病院、エイズ治療拠点病院、
がんゲノム医療拠点病院、
がん診療連携拠点病院地域医療支援病院 ほか

[診療科] 総合診療科・感染症科、女性専門科、呼吸器内科、
消化器内科、糖尿病内分泌内科、血液内科、循環器内科、
腎臓内科、リウマチ・膠原病科、神経内科、精神科、小児科、
皮膚科、産科、婦人科、新生児内科、消化器外科、乳腺外
科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外
科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔外
科、麻酔科、緩和ケア科、放射線科、病理診断科、高度救命
救急センター

山梨県立中央病院の ご案内と病院見学

■ 病院見学を希望される方

当院ホームページより「病院見学申込書」をダウンロード。必要事項記入の上、
下記連絡先までお申込みください。※申込みの受付は、土日・年末年始・GWは除きま
す。※日程調整の都合上、見学希望日の7日前までにお申込みください。

県立中央病院

〒400-8506 甲府市富士見1丁目1番1号

055-253-7111(代)

県立北病院

〒407-0046 韮崎市旭町上條南割3314-13

0551-22-1621(代)

JRご利用の場合

新宿	中央本線 特急あずさ・かいじ	甲府(約1.5時間)
松本	中央本線 特急あずさ	甲府(約1.0時間)
静岡	身延線 特急ワイドビューふじかわ	甲府(約1.5時間)

※甲府駅からタクシーで5～10分





地方独立行政法人
山梨県立病院機構

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号
TEL: 055-253-7111 (代) FAX: 055-253-8011

研修医・専攻医募集案内

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/>



病院見学



初期研修



専門研修



YouTube

